各分掌の重点努力目標（具体的目標）

１　総務部

・生徒の１００周年への意識付けのため、具体的なアプローチを実践する。
・学校・同窓会・ＰＴＡの連携で１００周年事業の基本方針と組織化を構築する。

２　教務部

・学科・教科の枠を越えた協働に基づく授業構成を実践する。
・生徒の思考を促す授業展開を実践する。
・キャリア教育を踏まえた学習指導を実践する。

３　農場部

・専門性を深化させる学習が実践できるように支援するとともに、地域が抱える課題について、生徒自らが分析し、解決するための手だてについて考え、実践しようとする姿勢を身に付けさせる。また、農業クラブ各種大会の指導の充実を図る。
・専門性を生かした資格取得を支援し、３年間で３つ以上の資格取得を目指す。
・ＨＰ等を活用し、地域に農業高校としての取り組みを発信する。

４　生徒指導部

・金農三生活信条の遵守する。
・服装指導を徹底する。
・礼法指導を徹底する。
・スマートホン・携帯電話の指導を徹底する。

５　特別活動部

・生徒の人格や人権を尊重した信頼関係の構築と安全管理体系を図る指導を充実させる。
・文武両道を実践し、生徒の能力を最大限にに伸ばす指導を行う。
・「スポーツ金農」「文化金農」として深化充実させる。
・よりよい人材の確保に努める。
・充実した学校行事を通して、自主性・積極性・社会性の育成する。
・地域への貢献や交流活動を通して、社会性を身に付けさせるための指導のあり方を充実させる。

６　進路指導部

・専門性を生かした就職を全体の５０％以上、国公立大学・専門性を生かした私立四年制大学への進学者をそれぞれ進学者の１０％とする。
・県内企業との連携し、理解を深め、県内企業への就職率を就職者の８５％以上とする。
・自らの行動を振り返り、客観的に自分を見つめる習慣をつけることにより、自ら学ぶ力・社会で生き抜いていく力を身に付けさせる。

７　健康教育部（教育相談部）

・ゴミ捨てのルールを設け、校舎を美しく維持する。
・自分自身の健康状況を把握し、心身を健やかに保つ。

８　研修部

・授業改善に向けた研修の充実を目指す。
・様々な変化に対応した研修を促進する。

９　教育相談部

・学年部や部活動顧問や保護者等からの生徒の情報を収集し、多角的に生徒の情報を把握する。
・支援を必要とする生徒には、本人の状況に応じた支援を図る。
・関係する職員と情報を共有し、組織的に検討し、他機関との連携を図る。

１０　教育情報部

・授業を通して情報モラルの醸成と、いじめ根絶を図るために、生徒指導や外部との連携を行い、実効性を高める活動を実施する。
・ＷＥＢページのリニューアルに向け、各部と情報を共有する。
・各教科でのＩＣＴ授業の取り組みをサポートする。また、ＧＩＧＡスクール構想に準じた授業の展開を構築する。
・職員研修会を実施し、校務支援システムの活用支援を行う。

１１　生物資源科

・金農三生活信条の実践と地域貢献や交流活動を通して、社会性を身に付けさせる。
・地域協働事業を通して社会的・職業的自立に必要となる能力・態度を育成する。
・職員も専門性を深化させる研究活動を実践し、専門教科を活かした進路実現を目指す。
・実験や実習での事故防止のため、日ごろから農場施設設備の点検を行い、生徒が安心して学習できる環境整備に取り組む。

１２　環境土木科

・測量や土木に関する資格取得者１０名を目指す。
・関連企業や関連学校への進路決定を目標に掲げ、進学者５名以上、公務員１０名以上の合格を目指す。
・学習と諸活動を通じて専門分野の目的や目標を明確に示し、社会的・職業的な能力の育成を目指す。

１３　食品流通科

・主体的な行動実践を通し、地域の課題について改善する能力を養成する。
・進路について探求し自己実現できる能力を養成する。
・資格合格率９０％以上、進路達成１００％実現を実現する。

１４　造園緑地科

・地域への貢献や交流活動を通して、社会性を身に付けさせる。
・個々の能力や適性を生かした進路が実現できる学力を身に付けさせる。
・専門性を生かした研究活動、資格取得や関係教育機関との連携を図る。

１５　生活科学科

・時間厳守、整容、挨拶励行を行う。
・ものづくりの楽しみと達成感・他者と協力する喜びの体得させる。文化コースは、食物調理・被服（和・洋）の各１級取得（三冠王）の全員合格を目指す。福祉コースは、実習（介護施設・保育施設・野菜栽培等）を通して他者と協力する喜びやコミュニケーション能力の育成を目指す。
・農業クラブ活動に自主的取り組みと高成績を目指す。

１６　１年部

・金農三生活信条を徹底し、朝学習や家庭学習の習慣をつける。
・期末考査での評価点において、平均８０点以上を各クラス２割以上とする。
・年度末に具体的な進路目標を設定できる生徒を８０％以上とする。

１７　２年部

・金農三生活信条を意識した落ち着いた生活の中で、進路目標を定め、充実した学校生活を送る。
・家庭学習ノートの提出率を８０％点以上とする。
・進路目標決定を１００％とする。
・１カ年の皆勤者を各クラス５０％以上とする。

１８　３年部

・国公立大学への進学者８名以上とする。
・専門性を生かした私立四年制大学への進学者８名以上とする。
・就職希望者の第一希望達成率１００％とする。
・３年間で資格取得３以上の者が５０％以上とする。
・１カ年皆勤者数が在籍者の５０％以上とする。

１９　生徒会

・生徒一人一人の個性の伸長を図りながら主体的に自己実現を目指そうとする自己理解・自己管理能力を身に付けさせる。
・地域への貢献や交流活動を通して、社会性を身に付けさせる。
・生徒の能力を最大限に伸ばすことが出来るように支援する。
・目標を高く掲げ、その実現のために計画的に行動できる姿勢と、最後まであきらめずに取り組む姿勢を育成する

２０　農業クラブ

・地域が抱える課題について、生徒自らが分析し、解決するための手立てについて考え、実践しようとする姿勢を身に付けさせる。
・専門性を深化させる研究活動を充実させる。
・農業クラブ全国大会入賞数を３以上とする。

２１　国語科

・さまざまな文章を読むことにより活字に慣れ親しみ、要点を押さえながら自らの思索に導くような語彙力と読解力を獲得する。
・進学・就職試験の小論文・作文に対応できる力をつける。他者の話を正確に聞き取る力と場面に応じた聞き手に分かりやすい話し方を身につける。

２２　地歴・公民科

・社会人となっても自ら考え、学び、行動できる力を養っていくため、自分の考えを、きちんと発言できる力、文章でまとめる力を身に付けさせる。

２３　数学科

・授業に意欲的に参加する姿勢を促し、基礎基本事項の定着を図る。
・定期考査前後の指導により弱点分析・克服を意識させ、各自の進路達成につなげる。
・大学進学希望者のサポートをする。

２４　理科

・中学校等の知識を土台に、自然現象を理論的に考え説明できる。
・実験観察を定期的に行い、操作等も含め、実験技術を身につける。
・ＩＣＴを活用して実験データをまとめられる技量をを高める。

２５　英語科

・英語検定準２級のレベルを常に意識しつつ、その土台となるための総合的な英語力の定着を目指す。
・基本的な英語を駆使して、段階的に表現活動ややり取りをすることができるような指導を行う。
・音読においては、意味を考えながら読む活動を行う。

２６　保健体育科

・各種の運動の特性に触れる楽しみや喜びを味わうとともに、運動の学び方を身につけさせる。また、生徒が課題を自ら設定し、その解決に向けて主体的に運動に取り組み、自らフィードバックできるようにする。
・新体力テストの結果を生徒に周知し、自己の体力状況の把握や体力向上への関心を喚起する。また、毎時の授業において体力向上の為の運動を実施する。
・体育授業において体ほぐし運動や体育的行事を通して、安全に対する態度や能力を育成し実践できるようにする。
・自らの健康課題において、適切な思考・判断・意志決定ができるよう言語活動教育　を通じて生徒の能力を高め育成する。

２７　芸術科

・様々なジャンルの作品に興味関心を持ち、それぞれの良さに気づき、味わうことができる。
・発声することを恐れないで、自信を持って表現させる。
・表現することや他と合わせる喜びを感じさせる。